

受講申込書

ふりがな 氏名	
住所	(県民カレッジ単位希望者のみ記載してください) 〒
電話番号	

受講を希望する講座に○をつけてください(複数可)

	日	講演題	講師	講座内容
<input type="checkbox"/>	9/21 (土)	「発明の人・ 川原田 政太郎」	麻柄 一志氏 魚津歴史民俗博物館 館長	大型テレビを開発した川原田の一代記は、生家の破産から苦学の末、大学教授・研究所所長として成功を収めるという明治・大正の典型的立身出世物語です。明治の教育は富国強兵の理念に基づく人材育成を目的としたもので、苦学は奨励され、達成した者には明るい未来が約束されていました。司馬遼太郎『坂の上の雲』に描かれたような苦しい中にも楽天的に目標を一つ一つ実現していく明治青年を川原田政太郎は体現しています。それが川原田の魅力かもしれません。
<input type="checkbox"/>	10/12 (土)	「建築家・ 吉田 鉄郎の 求めたもの」	松隈 洋氏 京都工芸繊維大学 教授	通信省の建築技師として、東京中央郵便局(1931年)や大阪中央郵便局(1939年)、別府市公会堂(1928年)など、日本の近代建築を代表する多くの優れた公共建築の設計を手がけた建築家・吉田鉄郎(1894~1956年)は、何を目指していたのか。北欧への憧れと日本の伝統的な木造の住まいや集落への敬意から生み出された彼の独自の建築思想を振り返ってみたい。
<input type="checkbox"/>	10/19 (土)	「明治の アントレプレナー、 瀬木 博尚」	難波 功士氏 関西学院大学 社会学部 教授	明治天皇と同じ1852(嘉永5)年に富山藩士の長男として生れた瀬木博尚は、1895(明治28)年、43歳の誕生日に東京神田にて「雑誌広告取次所博報堂」を創業しました。雑誌がまだニューメディアであった時代に、今言うベンチャー企業を立ち上げたわけです。1939(昭和14)年に永眠するまで、瀬木はさまざまな事業を手がけましたが、その軌跡をたどりながら明治から第二次世界大戦前までの社会をふり返ります。
<input type="checkbox"/>	12/7 (土)	福井直秋が目指した 音楽教育の真髄 — 西洋音楽の啓蒙と 武蔵野音楽大学の 創立 —	福井 直昭氏 武蔵野音楽大学 副学長	まだ日本が近代化に向けて歩みだしたばかりの明治10年、富山で生を受けた福井直秋は、幼少のころから天賦の音楽の才能に恵まれていた。やがて彼は黎明期の日本の音楽教育界を牽引していく存在となる。 単に音楽芸術を研鑽するだけではなく、音楽を通じて人としても豊かに成長するべきという福井の教えに多くの生徒たちが共鳴して、昭和4年、後に日本初の音楽大学となった「武蔵野音楽大学」の前身「武蔵野音楽学校」が誕生した。福井直秋の人間性ととともに、彼が目指した音楽教育の真髄にふれる。

※取得した個人情報、本講座以外の目的で使用することはありません。

〈FAXでの申込み先〉高志の国文学館 〒930-0095 富山市舟橋南町2-22 FAX 076-431-5490

※表面の電話番号で、口頭でのお申込みも受け付けています。